

Arche21

鹿児島県立沖永良部高等学校 【進路通信】

何をやったかではなく

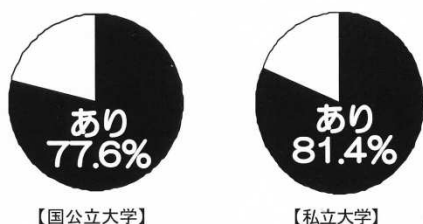
何のためにそれを行ったかである。
今、それが大切に思えてきている。

高倉 健 (俳優)

なぜ、今、「小論文」なのか？

近年の大学入試は、小論文抜きでは語れないのが現状です。入試で小論文を課す大学は約8割にのぼります。
(第一学習社小論文ネットより引用)

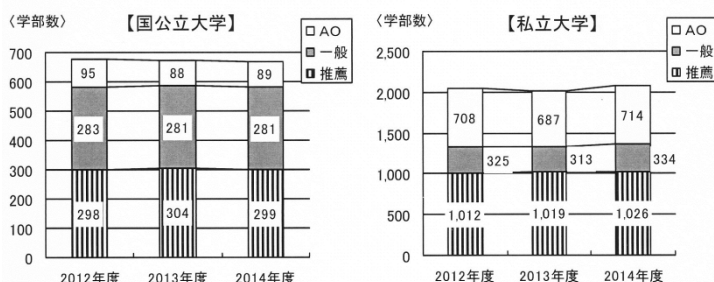
図1:2014年度入試 小論文出題大学の割合(学部数)



【国公立大学】

【私立大学】

図2:小論文入試 実施経年比較(学部数)



必要なのは入試の場面だけではない！

小論文学習で身に付けた力は、大学での学習や生活、さらに社会に出てから必要な基礎的能力です。

「大学生になったら…」

- * 大学での講義は〈教わる〉から〈考える〉へ。
- * 演習や実験など、自分でテーマを設定し、その課題に対して自分なりの考えをまとめることが要求される。
- * 試験の多くは、レポートや論述試験。

「社会人になったら…」

- * 業務内容や活動に対して、報告書やレポートの提出が必要。
- * 初対面の人と仕事する場面が多々あるため、コミュニケーション能力が必要。
- * どのような行動にも、明確な理由と目的が必要。

「学科試験では測れない力」を見られる

学科試験で学力を測るとすると、小論文試験ではどんな力を測るのでしょうか。実は、「大学が受験生に求める力」と「小論文を書くために必要な力」はほとんど重なっているのです。例えば、「理解力」「判断力」「表現力」「専門に対する意欲」そして「個性」。だからこれほどまでに多くの大学で小論文が課されるようになっているのです。
(ベネッセ小論文通信より)

▼大学教授に聞きました！「小論文や面接ではここを見ている」



■北九州市立大<AO入試>

小論文と面接で行うAO入試では、自分の意見を持っていてそれをしっかりと発信できるかどうか、また、他の受験生や面接官に対する配慮ができるかどうかを重視しています。コミュニケーションにおいては一方的に自己主張をするだけではなく、自分が置かれている文脈や環境を理解しつつ、他人と意見をキャッチボールすることが必要だからです。

推薦・AO入試の面接・小論文に向けて

◆特に見られているのは、「読解力」「論理的思考力」「意見と理由」

小論文や面接では、出題内容や質問の意図を正しくとらえる「読解力」、根拠を基に論を組み立てていく「論理的思考力」、自分の考えを他人に伝える「意見と理由」を測る。他者を意識した表現ができるかどうか大切。

◆その大学・学部に対して「適性」があるかどうか問われる

大学や学部によって出題形式やテーマ設定は様々ではあるが、共通して言えるのは、その大学・学部に対して「適性」があるかどうかである。大学案内やWebサイト等で志望先のことをしっかり調べておくこと、志望理由を整理しておくことも必要。

ある国立大学のアドミッションセンターの教授は「小論文を書く前(入試当日よりも前)に構想ができていくかどうかのカギ」と語る。考える経験を少しでも多く積んで入試本番に臨みたい。

小論文を書く力の育成には時間がかかる…

よく言われることですが、

「新聞を読んだりニュースを見る」

→その際、本質を理解するために考えたり、調べたりすることも必要です。そして必ず、自分なりの意見を持つ、思考の習慣をつけましょう。

「積極的に友人とディスカッションをする」

→時事問題や、授業で学習した内容など、(堅い内容でなくて構わない)相手の考えを聞き、理解して自分の立場と意見を述べる訓練を積もう。

「志望分野に関わる書籍(新書)を多く読む」

→知識がなければ、書くことはできません。自分の意見を述べるための根拠が必要だからです。

小論文ガイダンスについて

* 12月9日（火） 対象：1年生

初めての小論文なので、「作文との違い」、「小論文の導入」「意見+根拠の示し方」など基本的な書き方の指導をしていただきます。

* 12月25日（木） 対象：2年生・1年生商業科・1年生と3年生の希望者

「意見+根拠の示し方」から「段落構成の型について」など基本的な書き方の確認をして基礎力の養成を図るとともに、「要約問題，課題分型・データ型小論文の書き方」について指導していただき、実際に書くことに取り組み実践力の向上を図る。

【 12月9日（火） 】 場所：多目的ホール

3・4校時 10：40～12：30（110分） 商業科
1年商業科のみ③④カット

5・6校時 13：45～15：35（110分） 普通科
1年普通科のみ⑤⑥カット

※ 7校時LHRで、簡単な感想文の記入。



【 12月25日（木） 】 場所：多目的ホール

1・2校時 8：30～10：20（110分） 2年普通科

3・4校時 10：40～12：30（110分） 1・2年商業科
※ 商業科は課外はないが、この時間に合わせて登校

5・6校時 13：15～15：05（110分） 1・3年希望者

※ 1年生普通科の課外は4時間目までなので、希望者する生徒のみ参加

【 講師紹介 】

第一学習社 長岡 裕子 先生

第一学習社広島本社にて、小論文主任講師として活躍中。広島、岡山などの私立高校にて非常勤講師として約10年間「小論文」の特別授業を担当。小論文の添削指導、入試問題の分析、教材作成などの経験を生かし、西日本を中心に高校生、教諭対象の小論文講演会を行う。平成20年度から2年間、「広島大学大学院教育研究科」に研究生として在籍、「全国大学国語教育学会」にて学会発表も行っている。平成23年より、研究生時代に師事した教授らと「教師の学校」を立ち上げ、後陣育成に取り組む。